



OKINOERABU ISLAND FLOWERS

奄美群島の小さな島

沖永良部島のお花



沖永良部島のお花



スプレーギク



ソリダゴ



テッポウユリ



グラジオラス



トルコキキョウ

九州本土から遙か南に位置する花の島

「沖永良部島」

青い海に囲まれた自然豊かな美しい島です。

四季を通して温暖な気候の

「沖永良部島」ではスプレーマムやユリ、

ソリダゴ、グラジオラスなど様々な花が栽培されており、

その中でもテッポウユリ「えらぶゆり」は

100年以上の歴史を持つ島の宝です。

沖永良部島の農家が

手間ひまをかけて大切に育てたエラブのお花。

私達の思いを花にのせてお届け致します。



keywords

環境を大切に

自然に優しい花を届けたい

私達の花づくりは温暖な気候を活かしたつくり方。暖房を施さないで石油燃料を使わずCO₂も削減。地球温暖化にも貢献しています。
また良い花づくりには欠かす事のできない大切な「土」。この土を健全に保つため、土壌分析に基づく適正な肥培管理に努めるなど、環境に優しい花づくりに取り組んでいます。

keywords

安定した花づくり

四季を通して花を届けたい

南の島にとって台風の影響は避けられないもの。
そこで、強風で花がいたまないよう「平張施設」を設置しています。「平張施設」は、箱形のネット被覆施設で四方と天井に張ったネットが強い風から花を守ります。
さらに「LED電球」を導入し、家庭用発電機による停電対策やコスト低減のための省エネ対策を行なうなど、台風に負けない安定した花づくりに取り組んでいます。

keywords

丁寧に送る

新鮮な花を届けたい

私達の花は、九州をはじめ、関西や関東、遥か北の北海道まで全国の花市場へと出荷されます。
この長い長い道のりでも鮮度が保たれるよう、急速に花を冷却できる「真空冷却装置」や「冷蔵コンテナ」を利用し、いつでも新鮮な花を届けられるよう取り組んでいます。



分荷・チェック作業



真空冷却装置



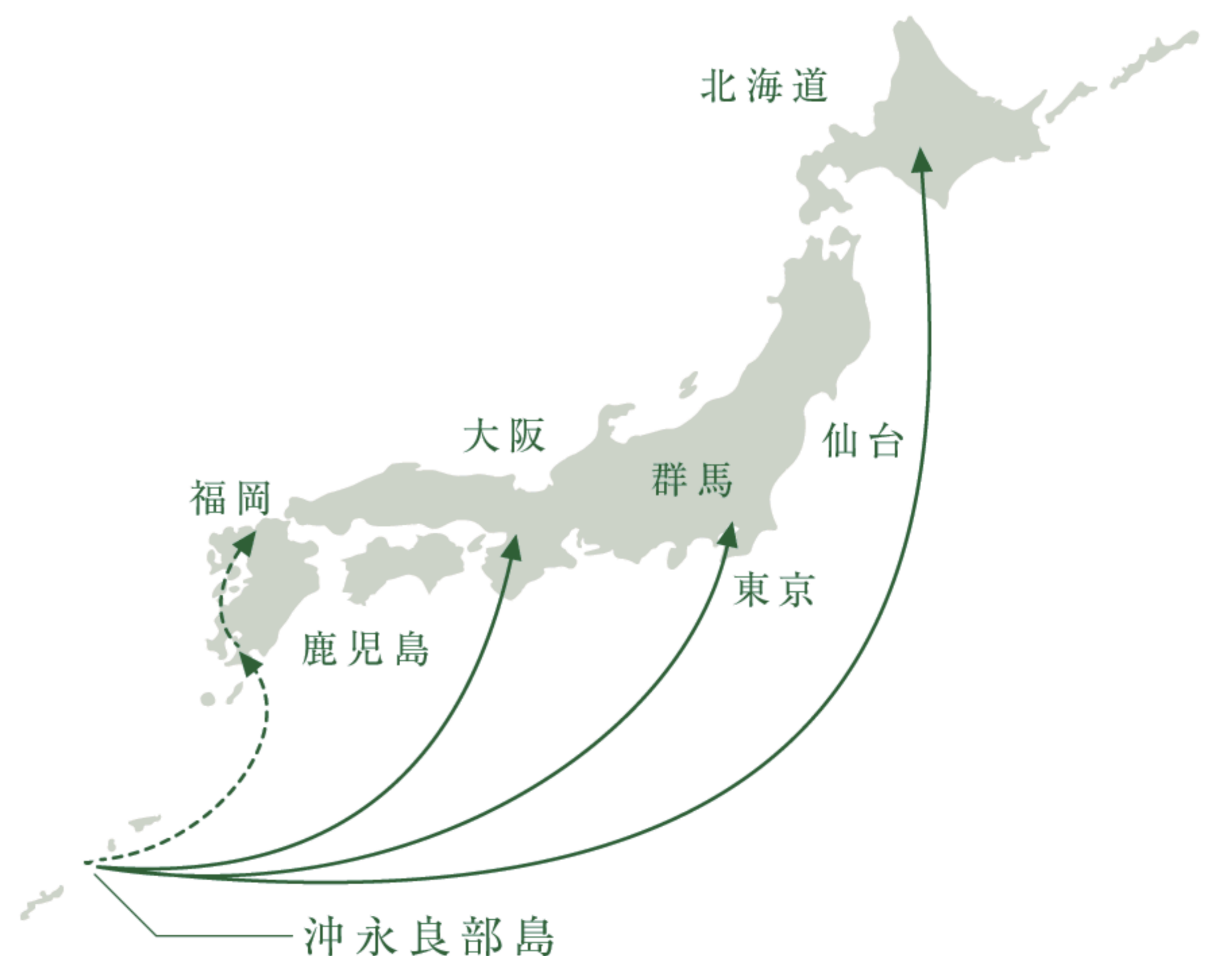
冷蔵コンテナ



船での輸送

出荷時期 年間を通して様々な花を生産しております。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
スプレーマム	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ソリダゴ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
テッポウユリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
グラジオラス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
トルコギキョウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
クルクマ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
オリエンタル	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●



テッポウユリ

Easter lily

100年の歴史を誇る
島の宝です。

純白で大輪の花の美しさは、いつの時代も変わらずに愛されて来ました。清楚な姿と穏やかな香りが、見る人の心を癒します。



プチホルン

【花姿】花:花弁は純白。花粉(やく)は鮮やかな黄色。
開花時の直径は8~9cm。やや上向きに開花
茎:直径7mm~9mm 葉:色は緑で黄色。斜め上向き
輪数:流通主体は1~3輪
【用途】アレンジメント、花束、プリザードフラワー、ブーケ、仏花



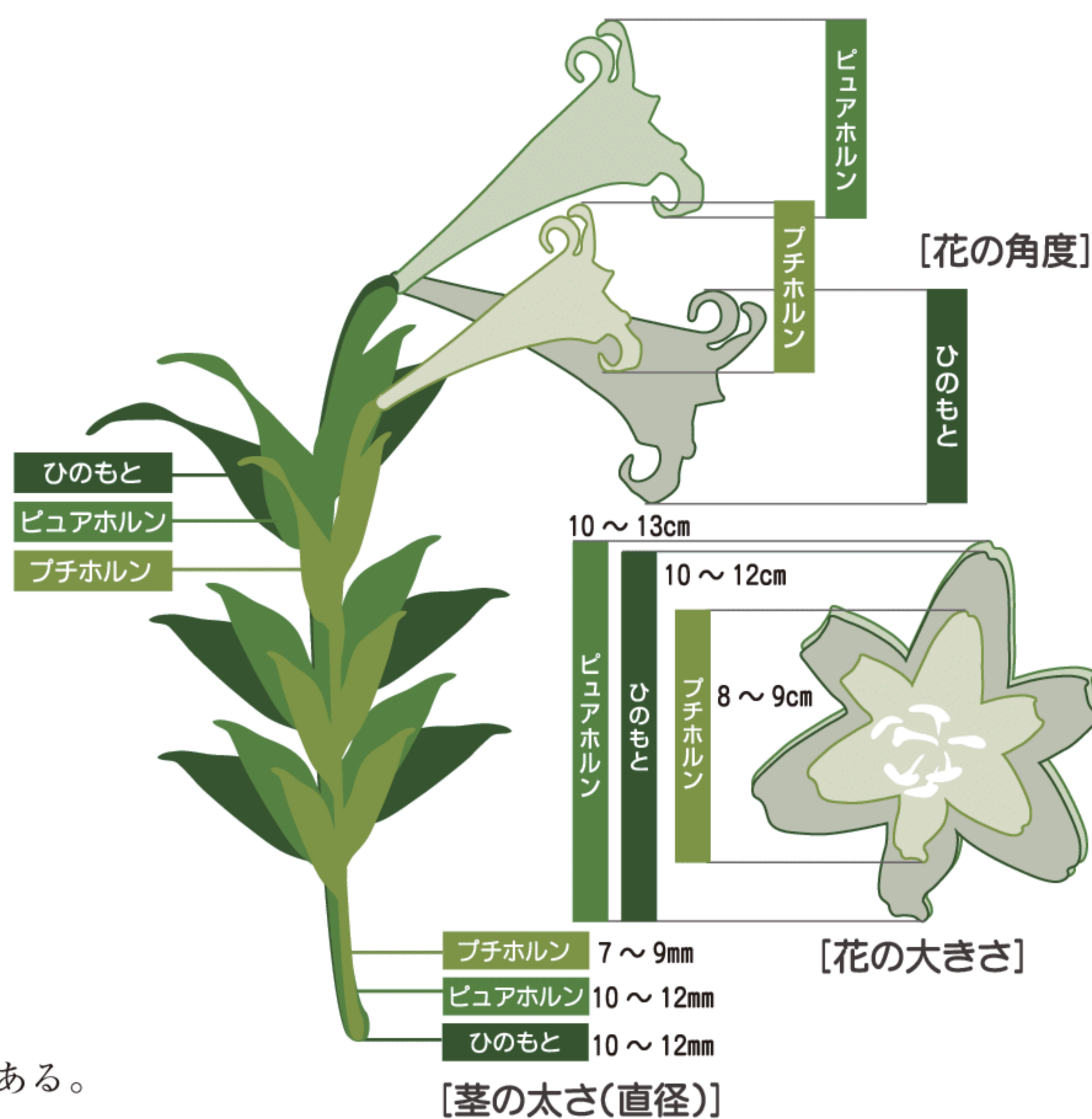
ピュアホルン

【花姿】花:花弁は純白で光沢がある。花粉(やく)は鮮やかな黄色。
開花時の直径は10~13cm。やや上向きに開花
茎:直径10mm~12mm 葉:色は緑。斜め上向き
輪数:流通主体は2~4輪
【用途】アレンジメント、花束、ブーケ、仏花



ヒノモト

【花姿】花:花弁は純白。花粉(やく)は鮮やかな黄色。
開花時の直径は10~12cm。やや下向きに開花
茎:直径10mm~12mm 葉:色は濃緑で。横向きで厚みがある。
輪数:流通主体は2~4輪
【用途】生花、仏花



ソリダゴ

Solidago

国内最大の産地です

スプレーギクに次いで多く生産されている切り花で、当地沖永良部島が、国内最大の産地となっています。

年間を通じて出荷されており、切り花のバイプレイヤー(沿え花)として全国から注文があります。

夏場は、鮮度保持剤の活用や、下葉処理などの工夫により、安全に出荷できるよう、気をつけています。



スプレーギク

Chrysanthemum

南国の菊らしい

鮮やかな発色が特徴です。

沖永良部島内で最も多く生産されている品目です。

11月下旬～5月中旬まで出荷される「秋タイプ」と、7月～9月に出荷される「夏秋(かしゅう)タイプ」があります。

主流のシングル(一重)に加え、デコラやポンポンなどの変わり咲きも、徐々に増えています。

南国の太陽をさんさんと浴びて鮮やかに発色した花卉が特徴で、また、軸が太くボリュームもあります。

夏秋タイプは、鮮度保持剤(STS剤)を利用し、出荷後に下葉の黄化や枯れ上がりが発生しないよう、気をつけています。



きゅらシューサー



和実ナミ



セイレミダス



ローズ舞風車



ダンテ



ホンド



アマルフィ



アマルフィゴールド



カントリー



グラジオラス

Gladiolus

国内では珍しい
冬の出荷が可能です

出荷時期は12月～5月で、この時期の国内産のほとんどを、沖永良部島で生産しています。

軸花として業務用を中心に流通しており、花卉の鮮やかな色合いと、ボリュームのある草姿が特徴です。



ソフィー



フレボエフェクト



ノバラックス



ミルカ



トルコギキョウ

Turkey bellflower

近年人気が高まってきています。

2月～5月を中心に出荷され、鮮やかな花色とそのパリエーションに人気が集まっています。花束やアレンジ、仏花など、幅広く利用されています。



OKINOERABU ISLAND FLOWERS

奄美群島の小さな島

沖永良部島のお花

お問い合わせ先

沖永良部花き専門農業協同組合
TEL 0997-92-2226

JAあまみ知名事業本部電話
TEL 0997-93-3708

JAあまみ和泊事業本部電話
TEL 0997-92-0403